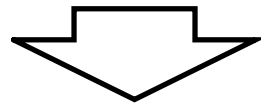
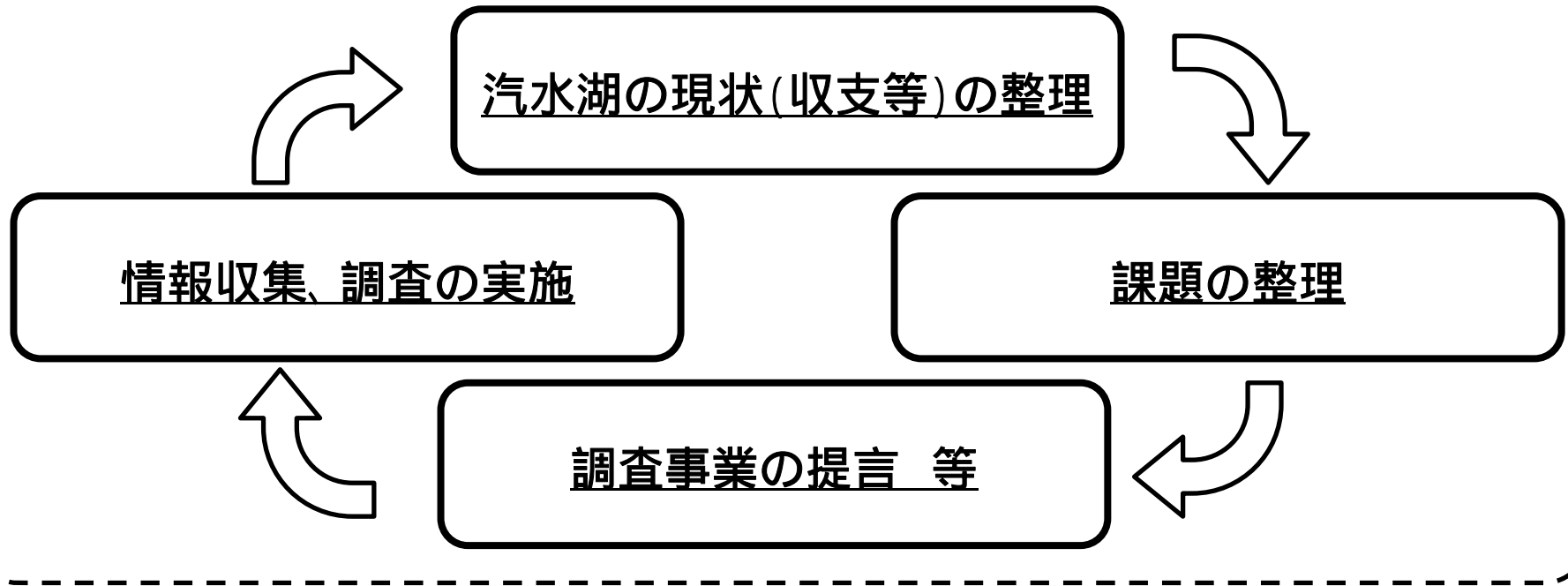


5 . 今後の調査事業等について

「汽水湖汚濁メカニズム解明調査WG」のイメージ

汚濁メカニズムの解明



各事象について、的確に把握

シミュレーションモデルに反映(精度アップ、施策の効果検証)

期待される
効果

- ・ 効果的な負荷削減対策の提言
- ・ 流域住民に対する行動指針の作成

ワーキンググループの今後の予定

環境省

情報の共有

島根県

H22年度

H23年度

H24年度

H25年度

H26年度

中間とりまとめ

- ・課題の抽出・整理
- ・第6期計画に向けた研究テーマの整理
- ・モデルの精度アップ

とりまとめ

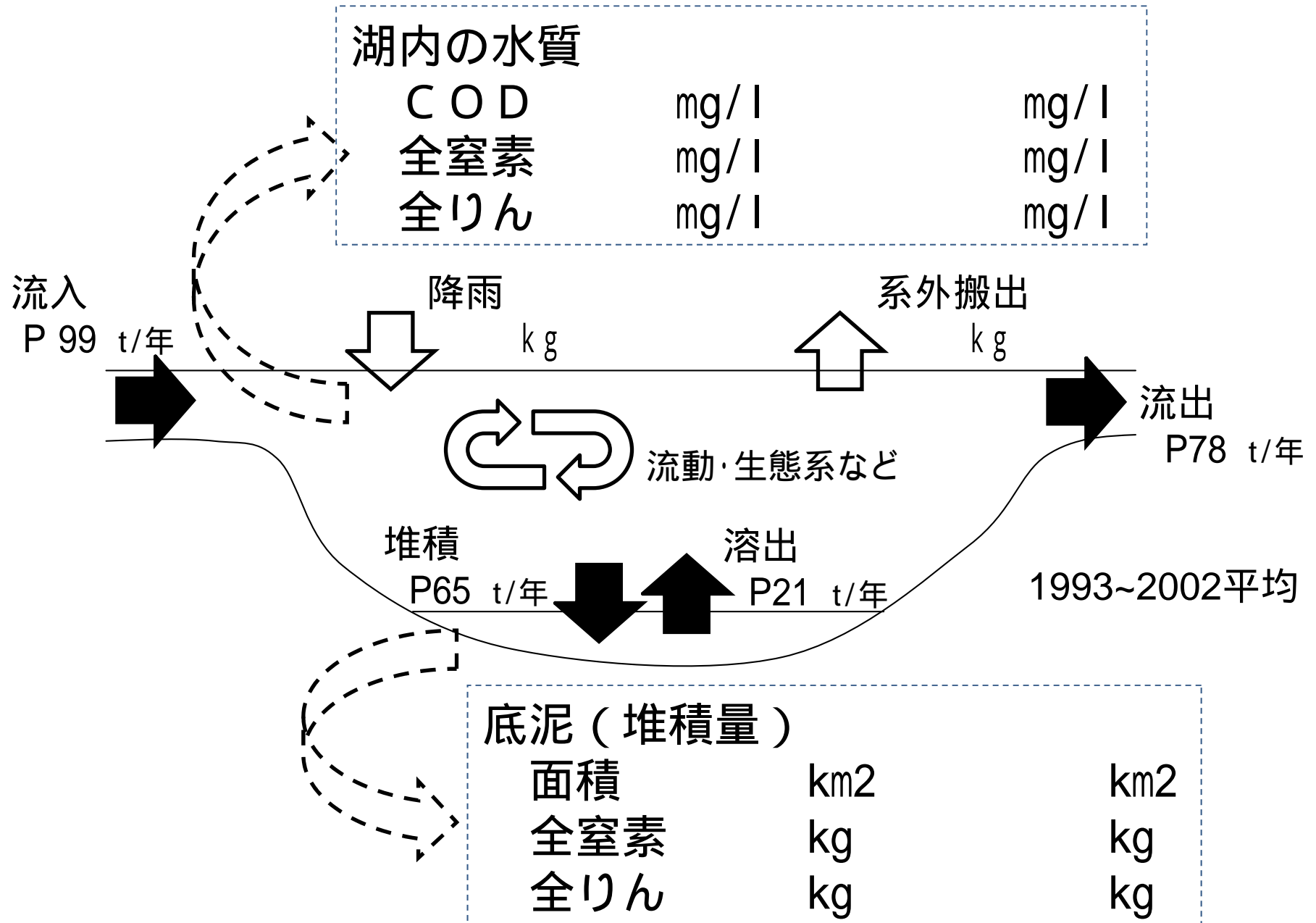
- ・モデルの検証(現況再現)
- ・第6期計画の施策体系の整理

- ・第6期保全計画の策定

- ・汽水湖の現状、課題の整理
- ・調査事業の提言、助言
- ・調査結果の評価
- ・シミュレーションモデル構築へ向けたパラメータ等の整理

汽水湖汚濁メカニズム解明調査ワーキンググループ

「汽水湖の現状(収支等)の整理」のイメージ



汚濁メカニズム解明調査に係る各委員意見について

各委員の意見	事務局対応方針
<p>流入負荷量について、きちんと確認する必要がある(第1回:中村委員)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然系は、実態を表していないと思う(第2回:中村委員)。 ・畜産系は、実態を表していないと思う(第2回:清家委員)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原単位等について、精査、確認中 ・小規模事業場等からの負荷量の実態把握調査を実施する予定 ・他湖沼における算出方法を確認
<p>穴道湖に入る汚濁負荷量、出る汚濁負荷量、堆積量について、測定結果を確認したい(第1回:吉田委員)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収支図を作成
<p>動物プランクトンについても十分な調査を実施して欲しい(第1回:中田委員)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省など関係機関が実施されているデータの活用について検討
<p>培養株等の保有・管理をした方がよい(第1回:大谷委員、山室委員)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国立環境研究所への寄託について検討
<p>塩分成層による酸素の挙動、それに伴う栄養塩の溶出についての把握が大事だと思う(第1回:石飛委員、第2回:山室委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・塩分成層による酸素の挙動を把握する調査を実施する予定 ・検証版のモデルの構築について検討
<p>モデルで長期的傾向を見る(第1回:中田委員、中村委員、第2回:石飛委員)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的傾向を見る手法について検討

環境省の調査研究(平成22年度以降の予定)

	H22	H23	H24	H25
窒素リン比変動による水生生態系の影響等調査(H21～23) <ul style="list-style-type: none"> ・ 窒素リンと植物プランクトンの調査(H21調査済み) ・ 窒素リン比変動による水生生態系の影響検討(H22～23) 	←→			
底層DO等を用いた水質環境評価事業(H22～23) <ul style="list-style-type: none"> ・ 下層DO、透明度に関する調査(宍道湖において実施) 	←→			
湖沼水質保全施策枠組み再構築事業(H22～24) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国指定湖沼の水質状況・施策実施状況の整理(H22) 	←→			
湖沼の環境情報の整理手法の検討(H22) <ul style="list-style-type: none"> ・ モデルケース:宍道湖 	↔			
湖岸・沿岸帯の自然浄化機能の検討(H23～25)		←→		
汽水湖の汚濁メカニズム解析(H23～25)		←→		
面源からの汚濁負荷検討(H23～25)		←→		

県の次年度以降の調査研究(案)について(その1)

	H22	H23	H24	H25	H26
汽水湖における汚濁解明調査事業					
流入河川連続調査 ・ 斐伊川(神立橋)において365日調査 ・ CODや全窒素、全りん等について分析		↔			
湖心高頻度調査 ・ 宍道湖湖心において、週1回の頻度で調査 ・ 水深1m毎に採水、水質、PPを測定 ・ STDを用いて水深10cmごとの水温、塩分等を測定		↔			
事業場排水実態把握調査(案) ・ 小規模事業場の排出水について調査		↔			
シミュレーションモデルの構築(案) ・ 検証版のモデルの構築について検討		↔			
生活排水実態把握調査(案)			↔		
環境基準等の常時監視	↔				

県の平成23年度予算状況について

事業名	予算額 (千円)	概要
宍道湖・中海改善 の促進事業の水 質	37,000	宍道湖・中海等の水質浄化のための調査・研究 汚濁メカニズムの解明調査 湖沼流域水循環の健全化 ・水辺植生等による自然浄化機能を活用した水質改善
宍道湖・中海水環 境保全・再生・賢 明利用推進事業	14,560	連結汽水湖である宍道湖・中海の水質保全と資源の賢明 利用を鳥取県と連携して推進 栄養塩循環システムモデル事業 ・藻の湖外搬出と藻の産業利用に関する調査・研究 ラムサールネットワーク形成事業 ・山陰両県による賢明利用リレートーク こどもたちの全国湿地交流事業 宍道湖・中海一斉清掃など